

第31回全国トイレシンポジウム 開催迫る

世界に発信する日本のトイレ—2020年のその先へ
平成27年11月14日(土) 東洋大学白山キャンパス

- 共催 日本トイレ協会、東洋大学、全国まちの駅連絡協議会
- 日時 2015年11月14日(土)
受付 9:10 開演 9:40 交流会 17:30
- 会場 東洋大学白山キャンパス 1号館 3F 1305教室
- グットトイレ選奨 9:40~17:00 東洋大学白山キャンパスにて展示等
- 後援 経済産業省、国土交通省観光庁、東京都教育委員会、日本科学未来館、一般社団法人日本能率協会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会、医療福祉環境エビデンス研究会、都市環境デザイン会議、一般社団法人日本医療福祉建築協会、一般社団法人日本医療福祉設備協会、公益社団法人国際観光施設協会、一般財団法人自然公園財団、一般社団法人日本福祉のまづくり学会、NPO地域交流センター、NPO給排水設備研究会、全国管工事業協同組合連合会(順不同)
- 協賛 TOTO株式会社、株式会社LIXIL、一般社団法人日本レストルーム工業会、株式会社総合サービス、日本カルミック株式会社、株式会社アメニティ、日野興業株式会社、株式会社シミズオクト、株式会社井戸屋、株式会社オーイケ、湘南ステーションビル株式会社、櫻木神社、柏書房株式会社、住友ベークライト株式会社(順不同)
- 参加費 無料(但し概要集2,000円)
- 事務局 日本トイレ協会、全国トイレシンポジウム実行委員会

第31回全国トイレシンポジウムの参加申し込み・問い合わせは !

■申込専用サイトが完成しました。

http://www.dynax-eco.com/toilet_symposium/2015/

■Tel 03-3580-8284 ■Fax 03-3580-8265 ■e-mail sympo@toilet-kyoukai.jp

<全国トイレシンポジウム事務局: (株) ダイナックス都市環境研究所内 (担当:石垣・山本)>

<プログラム 敬称略>

【午前の部】

受付 9:10 開会 9:40 総合司会 白倉正子(日本トイレ協会理事)

開会挨拶 高橋志保彦(日本トイレ協会会長)

9:50 キーノートスピーチ 「世界に発信する日本のトイレ—2020年のその先へ」

講師: 川内美彦(東洋大学人間環境デザイン学科教授/日本トイレ協会理事)

10:30 講演「国のトイレ施策について」

＜衛生設備機器に関する経産省の取り組み＞ 講師 関澤和弘（経済産業省商務情報政策局）

11:00 日本トイレ協会からの報告

(1) 30周年記念事業と「トイレ学大事典」の発刊について

(2) 「トイレでおもてなし推進運動」の展開について

11:10 研究発表 プレゼンテーション・セッション（会員による発表）

12:10 「グットトイレ選奨」応募作品のプレゼンテーション

12:30 昼食・休憩

【午後の部】

13:30 分科会

■分科会1 テーマ「トイレニーズの多様化とノーマライゼーションを展望する」

コーディネーター：小林純子（ノーマライゼーション研究会副会長）

話題提供

- ・車椅子利用者の立場から／奥山葉月（NPO 自立生活センター）
- ・視覚障害者の立場から／原 利明（鹿島建設㈱ 建築設計本部）
- ・国際的視野でとらえて／杉崎慎弥（朝日新聞東京本社グローブ編集部）
- ・商業施設のトイレ／市川昌昇（全国トイレ連絡会議 京王電鉄）

■分科会2 テーマ「これからの「日本のトイレの品質」

ー世界に発信する新たなトイレの技術、サービスビジネスを展望するー

コーディネーター：軍記伸一（日本トイレ協会理事／中日本高速道路開発㈱統括本部長）

話題提供

- ・インバウンド観光と海外に発信する日本のトイレ品質／山本ゆき子（TOTO㈱）
- ・観光拠点としての「まちの駅」とトイレ／福田義一（全国まちの駅連絡協議会 鹿沼市）
- ・観光都市における優良公共トイレの認定制度／林 英俊（群馬県産業経済部）
- ・ハンディキャップトイレの地図情報提供サービス／金子健二（NPO 法人 Check）

15:00 休憩・会場移動

15:20 分科会報告とパネル討論

「世界に発信する日本のトイレー2020年のその先を展望する」

コーディネーター 山本耕平（日本トイレ協会副会長／㈱ダイナックス都市環境研究所）

パネリスト

- ・小林純子（分科会1コーディネーター）
- ・軍記伸一（分科会2コーディネーター）
- ・福代梨里花（学生会員）
- ・高橋未樹子（コマニー㈱）
- ・木内雄二（＜一社＞日本レストルーム工業会）

16:50 総括 鎌田元康（日本トイレ協会副会長）

17:00 閉会

【交流会】トイレ学大事典出版記念を兼ねた交流会を開催します（参加費実費）

17:30 ～ 19:30 6号館 BF食堂内「チャオ ア ドマーニ」にて

■関連イベント グットトイレ選奨 他

はじめまして。平成27年4月から会員となりました、福岡県北九州市です。どうぞよろしくお願い致します。

「北九州市」と言えば「鉄の街」または「環境都市」等のイメージをお持ちの方もおられるかもしれませんが、実は世界的な衛生機器メーカーであるTOTO(株)の本社は北九州市にあります。

また、知る人ぞ知る、焼きうどんや焼きカレー発祥の地でもあります。近頃では「官営八幡製鐵所関連施設」が、「明治日本の産業革命遺産」として、平成27年7月、第39回ユネスコ世界遺産委員会において、世界文化遺産に登録決定されました。

本市では、市のイメージアップと『北九州市新成長戦略』のリーディングプロジェクトでもある「地元製品の利活用の推進」を図るため、「トイレまちづくりプラン検討会」を平成26年に開催しました。当検討会では、公共トイレのあるべき姿や、「誰もが使いやすいトイレ」に向けた取り組みを進めて行く等の提言を受けました。

現在は、誰にでも使いやすいモデルトイレの設計や設置場所、効率的な維持管理方法を検討しているところです。



【トイレまちづくりプラン検討会】

【TOTOミュージアム（北九州市小倉区）】



<出典：TOTOホームページ>

「TOTOミュージアム」が平成27年8月28日（金）にオープンし、水回りの歴史と文化や、最新技術の情報発信拠点となることが期待されます。

トイレが清潔で、快適であることは、来訪者へのおもてなしの基本であり、本市のイメージアップに大いにつながるものと感じています。

北九州市も、日本トイレ協会への入会を契機としてトイレについてさらに学んでいければと考えています。（北九州市産業経済局産業経済部企業立地支援課主査）

【北九州市のゆるキャラ（ていたん）のトイレトーパーや市内企業の商品】



今年度から日本トイレ協会法人会員として入会させて頂きました「無臭元工業株式会社」です。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 会社概要

弊社は1960年に設立された汚水処理や排水処理向け微生物製剤及び消臭剤の専門メーカーです。下水や尿尿処理、各種工業排水処理から、列車、船、潜水艦、飛行機などに搭載される特殊な汚水処理装置に至る様々な分野において、それぞれの特性を踏まえ、時代に応じたニーズに対応すべく研究を重ね、独自の製品技術とそれを用いた維持管理ノウハウの構築に努めて参りました。近年では、排水処理工程の省エネにも力を入れており、省エネを主目的とした製品及び制御技術の提供なども行っております。

2. 事業内容

【臭気対策事業について】

人が不快な臭いとして感知する物質は無数に存在するうえ、発生源や発生要因も様々ですので、消臭剤の種類としても、悪臭物質の性質に応じて、様々なタイプをラインアップしております。

実例の一つとして、東日本大震災時に、下水管破損等による下水処理場の機能不全の際、弊社から提供させて頂いた消臭剤を使用し、仮置き尿尿や下水の臭気対策、震災瓦礫臭気対策、河川への汚水放流時に薬剤散布するなどの臭気対策を行った実績があります。

例：【宮城県】仙台市・石巻市・気仙沼市・岩沼市、【福島県】相馬市・南相馬市、【千葉県】習志野市
弊社は創業当初、一般家庭の汲取り便槽用汚物処理剤（無臭元LL等）を便槽に投入することにより、汚物から発生する悪臭や虫の発生を軽減する方法を開発しました。このようにトイレ便槽内の汚物を制御する技術を通じ、トイレ及びその周辺の衛生問題の解決に長年携わってきており、当社独自のノウハウがあります。

また多くの経験から、尿尿処理に止まることなく、今まで全国的に主流となった下水処理を始めとしたトイレ及びその周辺のインフラでも、その考え方を応用した独自の臭気対策を提案して参りました。

機能面、衛生面で世界一と云われて久しい日本のトイレでも、人間が存在する以上、必ず排泄処理の問題はついて回ります。また通常の排泄処理から発生する問題だけではなく、近年その数が増えてくる気候変動による大規模な災害や、とりわけ今後発生が予想されている南海トラフ大地震・首都直下大地震発生時にも必ず起こるであろうトイレ問題に関して、無臭元工業株式会社が永年培ってきた技術と経験が、皆様のお役に必ず立てると考えております

製品のご案内

【貯留型便槽用 消臭・抗菌剤】「無臭元PT-L」

【使用目的】仮設トイレ・汲取りトイレ・マンホールトイレ・携帯トイレなど便を貯留するタイプのトイレの消臭剤

【使用方法】

- 仮設トイレ 10L のタンクに対して、1,000倍となるように添加
- 洗浄水タンク 大きさに対して1,000倍となるよう添加
- 貯留型の便槽 大きさに対して1,000倍となるよう事前投入
- 流下型配管 使用後に薬剤を1,000倍希釈した水で流してください
- 携帯・簡易トイレ 使用後に10倍希釈した本品を10ml添加



初めまして、株式会社トーカイ・リースキン事業本部の川上です。トイレについて、先輩会員の皆様を見習い、研鑽を積んで参りますので、よろしくお願いたします。

1. 弊社の概要

創立： 昭和30年7月21日 代表者：代表取締役社長 小野木孝二

リースキン事業本部所在地 〒501-6215 岐阜県羽鳥市正木町須賀赤松 2627 番地

資本金 81億8百万円 売上高 981億59百万円 グループ従業員数 6,998名（平成27年3月）

事業分野 「リースキンブランドのダストコントロール商品やトイレタリー商品のレンタル・販売」
「病院リネンサプライズや病院運営の周辺業務受託」 「宿泊施設などへの寝具類レンタル」
「介護用品のレンタル」 「調剤薬局の経営」 「病院などの建物の清掃・管理」

2. リースキン事業本部の紹介

昭和43年5月15日「リースキン」ブランドの玄関マットや清掃用モップなどのダストコントロール商品のレンタル・販売を開始しました。平成27年10月時点では「リースキン」ブランドは日本全国に約1100社の販売網を形成しています。代表的なダストコントロール商品である玄関マットには特殊な薬付け処理が保と施こされており、この働きにより靴についたゴミやホコリを逃がすことなく入口でキャッチし、フロアの清潔な環境を守っています。清潔を実現するため、玄関マットやモップ等のダスキンコントロール商品に止まらず、トイレタリー商品（除菌シートクリーナー、エアータオル、ハンドソープ、芳香・消臭剤、尿石とり）まで、幅広い商品アイテムをラインアップしております。

3. トイレ快適化に注力。新商品「ルーナス」「着せ替えトイレデザインマット」

近年は、特にトイレタリー商品の充実に努めています。中でも、平成27年4月から女性の皆様にトイレをより快適にご利用頂くために、自動開閉式のサニタリーボックス「ルーナス」のレンタルを開始しています。多くの女性は、従来の汚物入れに対して「他人の汚物を見たくない」「容器が小さい」「蓋に触れたくない」「臭いが気になる」といった不満を持っていました。その不満を解消するため「ルーナス」は「中身が見えない」「消臭機能付き」「手かざしセンサーによる自動開閉式」としました。既に大手商業施設、オフィビル、金融機関、学校、飲食店、コンビニなどのトイレでご利用頂いています。女性用トイレを清潔に保つことが出来るため、ご利用の90%以上から従来の汚物入れより良いとの評価を頂いています。また、トイレに敷くだけでトイレの印象をガラリと変えることが出来る「着せ替えトイレデザインマット」を販売しております。これはダスキンマットゴムにデザインを施したターポリンシートを敷き、塩ビ加工したものです。デザインとサイズは自由、まさにオンリーワンの商品です。飲食店や学校などのトイレでご利用頂いております。

<株)トーカイ リースキン事業本部 執行役員本部長 川上正衡>



<ルーナス>



<着せ替えデザインマット>

「経済産業省に対する日本トイレ協会の連携・協力事項の経緯報告」

株式会社 総合サービス

代表取締役 新妻 普宣

1. はじめに

政府（「中央防災会議幹事会」）が本年3月に発表した「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」において、発災時には、「約5,442万回」という膨大な数量の「災害用トイレ」（簡易トイレ・携帯トイレ）が不足する事が明示されました。

当発表を受け、「災害用トイレ」の（発災時）調達担当省庁である経済産業省の最たる調達協力先となっている日本トイレ協会としても、これまで以上の連携・協力が求められるようになりました。

本稿では、経済産業省に対する日本トイレ協会の過去の主な連携・協力状況と、8月に開催された「携帯トイレ・簡易トイレの備蓄推進に関するパネル展示」及び併催された「トイレトペーパーの備蓄推進に関するパネル展示」の報告をさせていただきます。

2. これまでの活動経緯

2009年より経済産業省に対して、協力関係となっている「災害用トイレ物資調達リスト整備」を契機として、その他にも様々な事業・行事の連携・協力を行っております。まずは、これまでの活動経緯として、以下に「経済産業省に対する日本トイレ協会の連携・協力事項の経緯報告」（表1）を報告致します。

〈表1〉 「経済産業省に対する日本トイレ協会の連携・協力事項の経緯報告」

事業時期	主な事業・行事
	主な内容
2009年～ 毎年1回程度	① 災害用トイレ物資調達リスト整備 災害時に、被災地にて発生する災害用トイレ不足分を調達する為、災害トイレメーカーリストに従い、移動可能な在庫数量の調査を実施。以後、毎年1回程度（本年より年2回程度）、追加修正等のリストメンテナンス（登録企業へ変更点等を確認）を日本トイレ協会が実施している。
	2015年 1月 ② 内閣府主催の「防災訓練」へ参加 経済産業省より、日本トイレ協会へ防災訓練参加協力の依頼があり、①の調達リスト掲載企業である「仮設トイレ」メーカー2社（レンタルのニッケン様、日野興業様）が参加。
2015年 2月	③ 「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」 経済産業省より依頼を受け、「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」内の「災害用トイレ」の「名称定義付け」に関して協力。
	■備考 日本トイレ協会 担当者 2009年～2014年 倉田理事・新妻 2014年5月～ 佐竹事務局長・新妻

3. 今回開催された「携帯トイレ・簡易トイレの備蓄推進に関するパネル展示」の報告

政府（内閣府 中央防災会議等）において、近い将来、「首都直下地震」（発生確率 30 年以内に約 83%）や「南海トラフ地震」（発生確率 30 年以内に約 70%）の発生が想定されています。（表 2）

〈表 2〉 南海トラフ地震・首都直下地震 における被害想定（トイレ関連要素）

地震名	南海トラフ地震	首都直下地震
地震発生確率	30 年以内に約 70%	30 年以内に約 83%
避難想定人数	最大 約 950 万人	約 720 万人
帰宅困難者	約 380 万人	約 800 万人
上水道 断水 復旧日数	約 3,440 万人 約 60 日	約 1,440 万人（約 30%） 約 30 日
下水道 断水率 復旧日数	約 3,210 万人 -----	最大 150 万人 30 日以上
電気 被害想定 復旧日数	約 2,710 万軒 -----	1,220 万軒（約 50%） 約 30 日

出典：内閣府 中央防災会議、文部科学省 地震調査会より

しかしながら、市民や企業における「災害トイレの備蓄対策」は、食品や飲料水等と比較して向上せず、喫緊の課題となっております。（表 3）

〈表 3〉 東京都民・企業における「災害用トイレの備蓄率」（2011 年・2014 年との比較）

年度	災害用トイレの備蓄率	食料の備蓄率
2011 年	6.3%	55.9%
2014 年	17.6%	49.5%

出典：2011 年・2014 年いずれも東京都ホームページより

このような背景の中、経済産業省では、「トイレトペーパー」に関しては、昨年より 9 月 1 日の「防災の日」に合わせ、「トイレトペーパーの備蓄推進に関するパネル展示」（図 1、写真 1）が開催されておりました。この「トイレトペーパーの備蓄推進に関するパネル展示」開催を受けて、トイレトペーパーを取り扱う日本トイレ協会会員企業等に対しても多方面から照会があり、このようなイベント開催は国民全体への周知と強い認識を与えるものであると感じました。

そのため日本トイレ協会としては、「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に、「携帯トイレ・簡易トイレ」の調達に記載され、又、約 5,442 万回という膨大な数量の「簡易トイレ・携帯トイレ」が不足する事が明示され、「災害用トイレ」の（発災時）調達担当省庁である経済産業省の最たる調達協力先となっている事から、不足解消の方策が必要であると感じ、経済産業省商務情報政策局日用品室に対して「携帯トイレ・簡易トイレ・仮設トイレ」のパネル・実物展示も併せて開催して欲しい旨、強く働きかけを行いました。

その結果、「携帯トイレ・簡易トイレの備蓄推進に関するパネル展示」（表 4、図 2～4、写真 2～8）の実現に至りました。

トイレトペーパー の備蓄が必要な 3つの理由

1. 阪神・淡路大震災において、被災者が最も困ったのは食料でも衣服でもなくトイレ不足※1
2. 東日本大震災では、被災地のみならず全国的にトイレトペーパー不足が発生※2
3. トイレトペーパーの約4割は静岡県で生産
→東海地震等が起こると深刻な供給不足となるおそれ※3



万に備え、家庭で 一ヶ月分の備蓄を!

※1 帰宅行動シミュレーション結果等に基づき(トイレ供給等に関する試算について)平成20年10月 内閣府
 ※2 東日本大震災におけるガソリン・物資の課題(関谷直也(東洋大学社会学部))
 ※3 トイレトペーパー供給地統計画(平成24年11月 日本家庭紙工業会)



〈図1〉

トイレトペーパーの備蓄を
推進する展示パネル

出典：経済産業省ホームページ

ニュースリリースより一部抜粋

〈写真1〉

特定非営利活動法人 緊急災害備蓄推進協議会
黒崎理事長によるご挨拶

〈表4〉 開催概要

日	程：平成27年8月31日(月)～9月4日(金)
会	場：経済産業省本館1階(財務省側広報スペース)
主	催：経済産業省 製造産業局 紙業服飾品課(トイレトペーパー) 経済産業省 商務情報政策局 日用品室(携帯トイレ・簡易トイレ)
展示協力：	日本家庭紙工業会、特定非営利活動法人 緊急災害備蓄推進協議会(トイレトペーパー) 日本トイレ協会、特定非営利活動法人 日本トイレ研究所(携帯トイレ・簡易トイレ)
展示内容：	<ul style="list-style-type: none"> ◇「トイレトペーパー」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本家庭紙工業会の取組紹介パネル ・特定非営利活動法人 緊急災害備蓄推進協議会の取組紹介パネル ・備蓄用トイレトペーパーの実物 など ◇「携帯トイレ・簡易トイレ」 <ul style="list-style-type: none"> ・携帯トイレ・簡易トイレ等の備蓄のための紹介パネル ・日本トイレ協会の取組紹介パネル ・特定非営利活動法人 日本トイレ研究所の取組紹介パネル ・携帯・簡易トイレ、仮設トイレの実物 など

携帯・簡易トイレ・仮設トイレの備蓄をお願いします！

自治体、自治会、企業、家庭、マンションでは、平常時よりそれぞれの用途に合った災害用のトイレを用意して、いつでもどこでも、安全に、安心して、快適にトイレを使える環境を整えておくことが重要です。

携帯トイレ



○便袋
(吸水シート等が付いたし尿用の袋)

自治体 自治会 企業 家庭 マンション

簡易トイレ



○小型で持ち運びができる
箱型トイレ

自治体 自治会 企業 家庭 マンション

仮設トイレ



○個室を備えたトイレ
(主に建設現場やイベント等で使用)

自治体 自治会

マンホールトイレ



○トイレ専用マンホール
の上に設置するトイレ

自治体 自治会

〈図2〉 携帯トイレ・簡易トイレ・仮設トイレの備蓄を推進する展示パネル
出典：経済産業省ホームページ ニュースリリースより一部抜粋



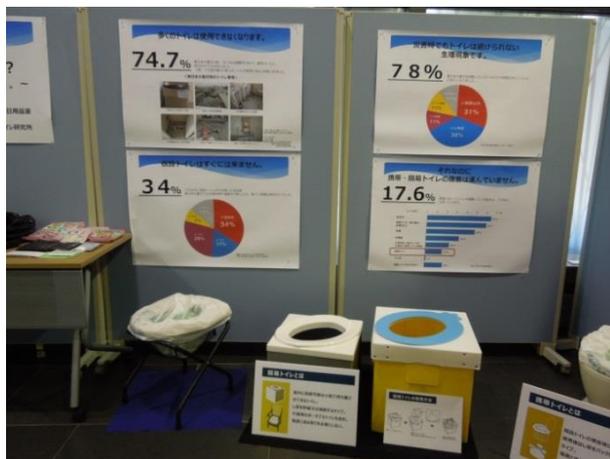
〈写真2〉 経済産業省 本省1階ロビーにて開催



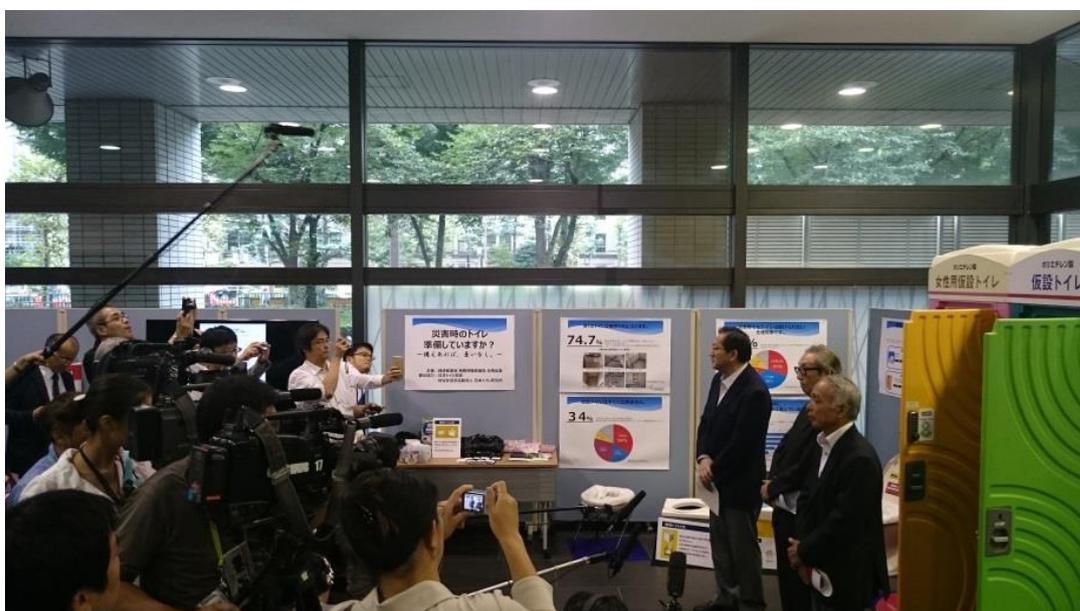
〈写真3〉 展示イベント
携帯トイレ・簡易トイレ・仮設トイレコーナー



〈写真4〉仮設トイレ・携帯トイレの展示



〈写真5〉簡易トイレの展示



〈写真6〉記者ブリーフィングでは、経済産業省 商務情報政策局 日用品室 高橋室長 及び日本トイレ協会から高橋会長がご挨拶され、多くのマスコミによる取材が行われた。（8月31日初日）



〈写真7〉テレビニュースでも紹介（TBS放映映像）
日本トイレ協会 高橋志保彦会長
（このほか、テレビ朝日でも紹介されました）



〈写真8〉右より
経済産業省商務情報政策局日用品室 高橋室長
経済産業省商務情報政策局紙業服飾品課 渡邊課長
日本トイレ協会 高橋会長



〔図3〕日本経済新聞(夕)掲載記事 2015年9月7日
「備蓄推進イベント」が紹介されました。(その1)



〔図4〕朝日新聞 掲載記事 2015年8月29日
「備蓄推進イベント」が紹介されました。
(その2)

4. 今後の課題

前述のとおり、発生が想定される「南海トラフ地震」において、「携帯トイレ・簡易トイレ」の膨大な不足数 約5,442万回分が予想されておりますが、トイレの利用は最も回数の多い生活行動（トイレ5回、食事3回、風呂1回として）であるにも拘らず、最も遅れている災害対策の一つとなっております。

この様な背景の中、今回報告させて頂いた「携帯トイレ・簡易トイレの備蓄推進に関するパネル展示」等、経済産業省に対する連携・協力は勿論の事、「災害用トイレ」の不足解消に向けた普及啓蒙活動等を継続して参りたいと存じますので、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

5. おわりに

最後に、この場をお借りして、これまで当活動に対して多大なるご指導及びご協力を頂いております 高橋会長、佐竹事務局長、坂本副会長、倉田理事、白倉理事へ、御礼を申し上げます。

災害時のトイレ 準備していますか？

～備えあれば、憂いなし。～

主催：経済産業省 商務情報政策局 日用品室
展示協力：日本トイレ協会
特定非営利活動法人日本トイレ研究所

〔図5〕出典：経済産業省 展示パネルより

以上

「国」と「女性」と「トイレ」の新しい関係

日本トイレ協会 理事 白倉 正子

今、トイレが「国家レベル」で注目されています。

それは日本政府の中にある（当時）内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室（東京都千代田区）が主体になって今年5～7月に募集があった「日本トイレ大賞」を見れば、一目瞭然ですが、実はさらにそれを超えて「国際レベル」でも注目が高まっているのです。

今回は「国家・女性・トイレ」を柱に、世界から注目されているトイレの現状と役割を、「働くトイレ女子（？）」の一人である理事の白倉正子が、お伝えします。

■ 1、日本トイレ大賞とは？

安倍総理大臣が掲げた政策の1つに「女性活用」が掲げられ、そのシンボルとしてトイレが注目されました。つまり暮らしの質の向上を目指し、これまで表舞台に出にくかった女性たちにスポットを当て、快適なトイレを増やす取り組みを始めたというわけです。女性にとってトイレは、単に排泄するだけでなく、身繕いや子育て・介護・心のオアシスに…と多目的に使用されます。「トイレ」が安全な社会のバロメーターになることは言うまでもありません。

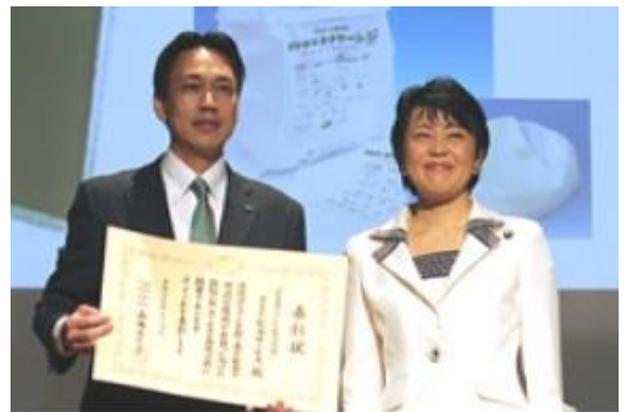
また同時に、昨今急増している外国人観光客が日本のトイレを「キレイでハイテク！」と感嘆し、温水洗浄便座が爆買なさったり、2020年に東京オリンピックの開催が迫っていたり…と、日本に対する世界からの注目は上々で、そのイメージアップにトイレが大きな役割を果たしています。それまでは「汚い・臭い」と揶揄され（女性と同様に）なかなか表舞台に出ることのなかったトイレにスポットが当たったという意味では、共通点があり相性が良いのかもしれない。いずれにしても「やっとトイレの時代が来た！」と喜ぶばかりです。

そんな中、女性活用担当大臣に抜擢された有村治子大臣が、自ら「トイレ大臣と呼ばれてもいい」と宣言なさるほど力を入れて、日本の優れたトイレ技術・文化・活動を募集する「日本トイレ大賞」が実施されました。「空間部門」と「活動部門」の2つに分けて公募しましたが、なんと378件もの応募があり、その中から28作品が受賞されました。具体的な受賞作品は、政府のサイトでご覧いただけますので、ここでは割愛しますが、日本トイレ協会の関係者も7件受賞していました（詳細は本誌17Pに掲載）。



「日本トイレ大賞」授賞式の様子

【2015年9月4日】（写真提供 内閣府）



授賞式で賞状を受け取った法人会員の総合サービス（新妻普宣社長）（提供 ㈱総合サービス）

それを喜ぶのと同時に「こんなにたくさんのトイレ活動があるのか」と、日本のトイレに対する幅広さと奥深さを改めて再認識する機会となりました。

参考：受賞作品一覧があるサイト：内閣官房（2015年10月時点掲載）

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kurashinoshitsu/hyosho/>

■ 2、女性が輝く社会には、トイレが大事！

ところで「日本トイレ大賞」の受賞発表の1週間ほど前の8月28日（金）午後、東京都品川区のグランドプリンスホテル高輪において「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム／WAW！ for All」（WAW＝World Assembly Women in Tokyo）が日本政府の主催により開催されました。好奇心旺盛な私は、たまたまこの情報をキャッチしたので、自ら一般枠に応募して参加の機会を手に入れました。

会場には日本人女性だけではなく、様々な民族衣装をまとった40か国以上・7機関から来た約140名の女性リーダーが大集結しておりました。一人ぼっちな参加で英語がまったく喋れない私は、会場の雰囲気、ただただ圧倒されるばかり…（汗）ですが展示エリアで、農業に従事する女性のための仮設トイレを作った取組や、生理用ナプキンを途上国に寄付している企業の活動などが紹介されているのを、見逃しませんでした。

開会してすぐに、安倍晋三総理大臣からのオープニングスピーチが始まりました。主な内容は「女性が輝く社会作りは、社会の活性化の鍵になる。そのためには男性の意識改革も必要。国も本格的に取り組んでいる」というものでした。しかし（後述の3で詳細を書いています）実はシンポ2日目（翌日）に「トイレ」をテーマにした分科会が開催されることになっており、それに参加することが本来の目的だった私は、「トイレの話はその時に初めて出るのだろう」とのんびりしていました。しかしなんと安倍総理大臣の口から「…世界で活躍する日本人女性の中に、ケニアでトイレ作りをしている山上遊さんという女性がいます」と紹介されたではありませんか！！ 山上さんについては4で後述しますが、国家の元首が公の舞台上で「トイレ」と口にした出来事や、具体的な個人名が出たことに、私は腰が抜けそうなくらい感動し、一人で静かにガッツポーズ…。30年に渡る日本トイレ協会の活動が、形を変えて評価された気分、勝手にになりました（あくまで「勝手に」ですけど…笑）。

その後、世界の女性リーダーによる基調講演やパネルディスカッションが舞台上で行われ、その1つのテーマが「女兒の教育をテーマにするパネルディスカッション」でした。諸外国（特に発展途上国）では、女兒の教育機会が少なく、性差別・性的暴力・経済困難等の現状が各パネラーから発表されました。その中で最も衝撃的だったのは「女兒教育の遅れの最大の理由は学校に安全で清潔な女子トイレが無いことだ。初潮を迎えた女兒は、生理中に学校に通えず、初等教育の機会を失ってしまう。そのために女性の社会参画や地位向上が妨げられる」という指摘があったことです。海外では生理（月経）は「汚いもの」というイメージが強く、また生理用ナプキンも皆無ですので、古着を切って陰部に当てているとか…。それにより外出を



開会の挨拶をする安倍晋三総理大臣

【2015年8月28日】



農業女子のためのトイレ活動を
紹介するパネルの展示があった。

控えるため、教育の場に通い続けられないわけです。このトイレネタが、各国の女性リーダーのランチタイムで最も盛り上がったと、エピソードも披露されました。トイレが大事だということをずっと訴えていた私は、身震いがしました。人前で話すことを憚られたトイレが、タブーを破ってやっと表舞台上で議論できるようになった、記念すべき瞬間でした。

■ 3、トイレを通じた女性のエンパワーメントの実現

2のシンポジウムの翌日は、8つのテーマに別れて女性活躍のための有識者による議論が実施されました。そのうちの1つが「トイレを通じた女性のエンパワーメントの実現」でした。ここに日本トイレ協会より4名の代表者が参加しました。（高橋志保彦会長／軍記伸一理事／白倉正子理事／日本カルミック株式会社の服部起代子氏）

開会挨拶として、「トイレ大臣」と自称する有村治子女性活躍大臣（当時）本人が、トイレを取り上げる背景を説明して下さいました。要約すると「トイレや排泄は人間の最も基本的な行為なのに国際的にも政策的にも議論を避けられてきた。世界には衛生的なトイレを使えない人口が25億人、日常的に野外で排泄する人口は10億人にのぼると言われている。排泄環境が個室のトイレであるか野外であるかによって事情は異なるが、排泄の場が犯罪や事故の現場にもなりうる。日本においては、女性の暮らしの質の向上をさせるという生活密着型の施設として、トイレの果たす役割に焦点を当てて取り組んでいる」というものでした。会場内の「なんでトイレと女性？」とピンと来ていない方も、これで納得した様子でした。



「トイレ大臣」との発言で会場を沸かせた有村治子女性活用大臣（当時）

（2015年8月29日）

その後、5名の国際的な立場で活躍する方よりスピーチがありました。

趣旨を短く紹介すると以下になります。

- ・清潔なトイレがないために、女性は尿道から感染して、病気になってしまう。
- ・野外で排泄をしなくてはならない場所では、（昼間では人目に付くので）女性は夜間まで我慢している。またトイレは、悪臭や感染の危険性から、離れた場所に設置されることが多い。そのため、そこに行く間、レイプや暴力の危険に晒される。
- ・難民キャンプでは、70%の女性がレイプ（性暴力）されている。安全を求めて集った難民キャンプが一番危険だなんて、どう考えても非人道的である。
- ・不本意な妊娠のために、授かった赤子を殺めるのも、残念ながらトイレである。
- ・世界第二位の人口を持つインドにおいて、トイレ改善に向き合う現状がある。インドの首相が4000のトイレを作ると宣言している。
- ・世界的な取組に関しては、国連ミレニアム開発目標において、トイレを含む衛生設備に関する目標が未達成になったことをふまえ、今後の取組の見通しを示したい。
- ・日本は下水道普及率を30年間で60%⇒100%にした実績がある。他国も見習うべき。
- ・日本はトイレ対策の最大のドナー（資金提供国）である。本当に感謝している。



スラムの状況
（フライングトイレのゴミ捨て場）

- ・先進国においても、例えば災害時のトイレの衛生状態の悪化、人目につかないトイレでの犯罪が起こっている。
- ・電力や下水道設備がないなど、環境が整わない場所においてもどのような方法で衛生的なトイレが実現できるか、環境整備後の暮らしの変化等を具体的に、ケニア（ナイロビ市ルクム地区）において、日本企業（後述の株式会社 LIXIL）が取り組んでいる。

これらの話の中で、私の心に一生刻まれそうな言葉がありました。それは「女性が安心して入れる安全なトイレが欲しい。「安全な」というのは、鍵が掛かるという意味だ」という一言です。日本にいと、トイレに鍵が掛かるのは当たり前です。でもそんな基本的なことさえ達成されないトイレがあるのです。そして無防備な状態がゆえに、女性たちが男性たちの魔の手で傷つけられてしまうのです。なんて理不尽なことでしょう。同じ女性としてこれはほっておけません。トイレは心の安らぎ空間になるには、課題が山積みです。



安倍総理大臣（中央）と女性パネラーが、シンポのシンボルである「WAW!」を手にしてポーズして記念撮影

■ 4、ケニアにおける日本人女性の活躍とトイレ作り

パネラーの一人に、若い日本人女性がおりました。彼女は（株）LIXIL 総合研究所新事業部グローバル環境インフラ研究室主幹の山上遊さんです。

山上さんは自ら望んでアフリカのケニアにおけるトイレ作りに参加しています。彼女のスピーチによると、ケニアでは衛生環境も衛生教育も少なく、特に資源（水）をなるべく使わないトイレシステムが必要だそうです。ちなみに女性たちは夜に排泄をしたくなる場合、野外に出ると危険なので、室内でビニール袋の中に用を足し、それを窓から外に投げ捨てるそうです。これを「フライングトイレ」と呼んでいます。フライングトイレは人々が生活をする場所にあちこち落ちています。そしてそれを集約しているゴミ捨て場は、非常に臭くて、不衛生そのもので、しかもそこで子供達が遊んでいるのです。これは大変危険です。

トイレ作りの基本であり、最大の課題は「汚物の処理」ですが、日本のようにバキュームカー汲み取りをするにはお金が足りず、単に川に流すだけでは浄化しきれないので、自然に悪影響を広げるだけです。そこで排泄物を肥料化するシステムを現地で調達しやすい部材で構築し、資源化しようと試みているそうなのです。ちなみに、子供たちの通う学校ではトイレが少なく、400名の生徒に対し、2つしかトイレがありません。だから男性生徒はトイレの中には入らず、外側で用を足してしまい、トイレの回りにはいつも悪臭が漂っています。そして女子生徒においては、男性生徒から身を守るため2～3名でトイレを交代で使い、使用中はお互いに見張りしている・・・という具合です。



ケニアでトイレづくりをしている山上遊さん。会場からはその具体的な活動に賛嘆が集まった。

そんな学校内に、先程のシステムを導入したトイレが誕生しました。すると生徒たちが殺到し、「教室よりキレイで居心地がいい」と溜まってしまうとか…（笑）女子トイレに鏡を設置したところ、年頃の女子生徒たちが群がり、自らの容姿を気にする姿があるそうです。これらは彼女たちに自信と生きる力を与えていると発言した、嬉しそうな山上さんの姿が印象的でした。

彼女の発表後、会場からは感嘆のため息が漏れました。そしてインドのトイレ作りの活動を紹介してくださった駐日インド特命全権大使のディープ・ゴパラン・ワドワさんが「山上さん本人をインドに『輸入』したい」と発言され、会場中が大爆笑の渦となりました。最後に TOTO (株) より日本の最新のトイレについてスライドで紹介され、閉会しました。

が、山上さんのそばには名刺交換を求める行列ができていました。（高橋会長はちゃっかり「今度、日本トイレ協会で講演してよ！」と約束を取り付けていました。もちろん快諾してくれましたよ～）

ちなみに株式会社 LIXIL では、女性社員が中心になって、生理用ナプキンを現地に寄付する活動が始まっているそうです。日本国内で出来ることあるのだと、感心しました。

最後に、こうしてトイレが国際的に注目されはじめ、本当に良かったと思いました。国内活動がメインの日本トイレ協会としては、具体的な行動に至るにはまだ時間が必要ですが、同じトイレを良くしようと志を共にする仲間同士として、これからも支えあいたいものです。（アントイレプランナー 代表）



ケニアの住宅地の様子。下水が発達していない上に夜間に安心して行けるトイレが無いので、汚物が入った袋（フライングトイレ）があちこちに散らばっている。

（写真提供：(株) LIXIL）



トイレ制作に取り組む山上さんと現地の協力者



完成したトイレ



トイレが入って嬉しい子供たち

（このページのすべての写真提供：(株) LIXIL）

トイレでおもてなし推進運動について<東京オリンピック・パラオリンピックに向けて>

このたび、協会内に「トイレでおもてなし推進運動（仮）実行委員会」が設置されました。山本副会長を担当理事にして、自発的に参加の十数名の理事・会員で構成され、第4回目のワーキング会議を終了したところです。その概要は次の通りです。会員の皆様の奮っての参加をお待ちしております。

【趣旨】

訪日外国人旅行が増えるにつれ、日本のトイレが話題になっています。政府も温水洗浄便座や節水型便器といった日本が生んだ高機能トイレの世界への普及を目指し、トイレを日本のおもてなし文化の一つに位置付けしようとする動きがあります。かつては3K（暗い、臭い、怖い）と云われてきた公共トイレに光をあて「トイレ革命」と「トイレ文化」を先導してきた日本トイレ協会としても、東京オリンピック・パラリンピックに向けて「トイレでおもてなし」の輪を広げたいと思います。また外国人だけではなく高齢化が進む国内では、公共的な利用に供するトイレの役割が益々重要になっています。華やかな商業施設だけではなく、全国どこでもユニバーサルデザインに配慮したトイレが使える環境が整えていくことが求められています。「トイレでおもてなし」の意は単に高機能の便器が設置されていると云うだけでなく、車椅子の利用者など移動や行動にハンディを持つ人、高齢者、乳幼児など「トイレ弱者」に対する配慮、文化や習慣の違う国々の人たちに対する配慮、心の籠った清掃などを含むもので、特に不特定多数が利用するトイレについてのさらなるレベルアップを図っていきます。

【当面の活動案】

1. おもてなしトイレの品質評価基準の提案

トイレ全体の底上げを図っていくために、品質評価基準（チェックリスト）を設定する。評価基準は必要な設備、メンテナンスのガイドラインであり、自己評価する仕組みとする。この仕組みに賛同するトイレを募集し、自己評価した結果を公表、地図上で共有できるようにする。

2. トイレでおもてなし推進会議（仮称）の設置

当協会を中心に、企業やメディア、学識経験者、行政、NPOなど、トイレに関係する様々な主体に呼びかけて、ゆるやかな連携・推進のための場を設けます。

3. 訪日観光客へのトイレマナー啓発活動

外国の多様なトイレ文化に慣れていくために、日本のトイレに関する情報を発信するとともに、利用マナーの向上を図っていきます。

4. 道の駅・まちの駅、高速道路SAとの連携

上記の施設を「トイレでおもてなし」の拠点施設として普及を図っていきます。

<問合せ おもてなしトイレ推進運動実行委員会 03-3580-8221 ダイナックス都市環境研究所>

日本トイレ大賞 当協会会員が受賞

去る9月4日、内閣府主催による授賞式が開催され、応募総数378件の中から28件が受賞されました。その中で、当協会会員および関係者の作品が7件、受賞しました（共同受賞含む）。

■女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画）賞…

- ・㈱LIXIL「ケニア等途上国のトイレ改善」ほか
- ・TOTO㈱「移動式仮設トイレ『おりひめトイレ』」（積水ハウス㈱との共同）
- ・渋谷区土木清掃部「公衆トイレネーミングクワイズ事業」※法人会員の㈱アメニティが深く関係

■地方創生担当大臣賞… おおいたトイレナーレ実行委員会／大分市「おおいたトイレナーレ」

■防災担当大臣賞… ㈱総合サービス「災害用トイレの技術開発」

■国土交通大臣賞… ・中日本高速道路㈱東京支社「新東名高速道路NEOPASA清水」

- ・TOTO㈱「GALLERY TOTO」（受賞は成田国際空港㈱）

理事会経過（2015年9月～10月）

■第4回理事会

日時 9月7日（月）17時30分～20時10分

場所 ㈱レンタルのニッケン BF会議室

議題

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 第31回全国トイレシンポジウムについて | (2) 東京おもてなし推進委員会について |
| (3) 日本トイレ大賞について | (4) トイレ学大事典について |
| (5) 協会リーフレットについて | (5) 経産省防災備蓄用品展示会経過 |
| (6) 日本能率協会主催「トイレ産業展」について | |

■第5回理事会

日時 10月5日（月）17時30分～19時50分

場所 ㈱レンタルのニッケン BF会議室

議題

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| (1) 協会リーフレットについて | (2) 第31回全国トイレシンポジウム進捗状況 |
| (3) 東京おもてなし推進委員会について | (4) トイレ学大事典刊行後の経過について |
| (5) 日本能率協会主催「トイレ産業展」について | |

編集後記

8月には、協会30周年記念事業の「トイレ学大事典」が刊行され好評裡に発売中です。また9月には日本トイレ大賞に多くの会員の皆様が受賞されました。更に11月14日には当協会最大イベントである「第31回全国トイレシンポジウム」を開催すべく鋭意準備を進めている状況です。トイレ大フィーバーの秋となりました。

さて本号は、新規法人会員になられた方々のご紹介です。これを機会に様々な分野の方が法人会員なられたことを感謝すると共に、社会へのトイレ文化の浸透と深度化がより深まって来たのではないかと、大変喜んでおります。また今まさに注目を集めている災害時備蓄トイレ関連用品展示会が当協会と経済産業省との連携により開催され、中心的役割を果たされた新妻会員の報告。さらには、「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム/WAW! for All」の詳細内容を「国と女性とトイレ」のタイトルで白倉理事が情熱的に報告された記事がメインになりました。

直近に迫ったトイレシンポジウムに一人でも多くの皆様の参加をお願いして編集後記とさせていただきます。

（広報・渉外部 木内雄二）

日 本 ト イ レ 協 会

〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION

東京都文京区春日1-5-3 春日タウンホーム1F～A

[URL:http://www.toilet-kyoukai.jp](http://www.toilet-kyoukai.jp)

Tel/Fax 03-5884-6123

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp